

第三十七回 帝國議會 貴族院議事速記録第十六號

大正五年二月二十六日(土曜日)

午前十時六分開議

議事日程 第十六號 大正五年二月二十六日

午前十時開議

- | | |
|---|---------------|
| 第一
(特第二號)
大正五年度特別會計歲入歲出豫算追加案 | 會
議(委員長報告) |
| 第二
北海道會法中改正法律案(政府提出、衆議院送付) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第三
大正二年度歲入歲出總決算、大正二年度各特別會計歲入歲出決算報告並決議案(一件) | 會
議(委員長報告) |
| 第四
鐵道敷設法中改正法律案(衆議院提出) | 第一讀會 |
| 第五
壯丁稅法案(衆議院提出) | 第一讀會 |
| 第六
癈兵、戰病死者遺族、軍人家族救護法案(衆議院提出) | 第一讀會 |
| 第七
市制中改正法律案(衆議院提出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第八
町村制中改正法律案(衆議院提出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第九
府縣制中改正法律案(衆議院提出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第十
齒科醫師法中改正法律案(衆議院提出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第十一
實用新案法中改正法律案(衆議院提出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第十二
砂鑛法中改正法律案(衆議院提出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |
| 第十三
罹災救助基金法中改正法律案(衆議院提出) | 第一讀會ノ續(委員長報告) |

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

昨二十五日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

國籍法中改正法律案

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

銀行條例中改正法律案

貴族院議事速記録第十六號

大正五年二月二十六日

議長ノ報告

貯蓄銀行條例中改正法律案

北海道拓殖銀行法中改正法律案

明治三十九年法律第三十一號中改正法律案

外國債ノ整理償還ノ爲内國債ヲ發行スルコトニ關スル法律案

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

農會法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵吉井 幸藏君 副委員長 男爵青山 元君

罹災救助基金法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵島津 忠磨君 副委員長 子爵榎本 武憲君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

大正五年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)可決報告書

北海道會法中改正法律案修正報告書

市制中改正法律案否決報告書

町村制中改正法律案否決報告書

府縣制中改正法律案否決報告書

齒科醫師法中改正法律案修正報告書

實用新案法中改正法律案可決報告書

砂鑛法中改正法律案可決報告書

罹災救助基金法中改正法律案修正報告書

請願委員會特別報告第六號

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

大正五年度歲入歲出總豫算追加案(第三號)

大正五年度歲入歲出總豫算追加案(第四號)

大正五年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第三號)

大正五年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第四號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)

大正五年度歲入歲出總豫算追加案(第五號)

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

華族世襲財產法改正法律案

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、御諮リヲ致シタイ
コトガゴザイマス、豫備金支出ノ件承諾ヲ求ムルノ件 關稅定率法中改正法
律案、簡易生命保險法案ノ各特別委員ヨリ委員會へ退席ノ要求ガ出マシタ、
何レモ許可イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、第一、大正五
年度特別會計歳入歳出豫算追加案特第二號、會議、豫算委員長報告

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

一大正五年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)

右衆議院ヨリ送付シタル案ヲ審査シ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリ
ト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十五日

豫算委員長

子爵岡部 長職

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵岡部長職君演壇ニ登ル〕

○子爵岡部長職君 豫算委員會ハ昨二十五日殆ド全會一致トモ申スベキ多數
ヲ以テ本案ヲ可決イタシマシタ

○男爵目賀田種太郎君 チョット質問ヲ致シタウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○男爵目賀田種太郎君 大藏大臣ニ質問ヲ致シマス、昨日豫算委員會ニ於キ
マシテ目下ノ情勢ニ於テ、又財政ノ狀態ニ於テ、尙ホ將來……即チ昨日申シ
マシタ剩餘金モ減ジ、國庫所屬資金モ減ズル故ニ、將來非常ナル必要ガアッタ
場合ニハ如何ナル措置ヲ採ルルヤト云フ御尋ヲ致シマシタ所ガ、何カ緊急
ナルコトガ出來タラバ適當ナル措置ヲ採ルト云フコトデアリマシタガ、明瞭
シマセヌデアリマスカラ今一應御辯明ヲ願ヒタイ

○議長(公爵徳川家達君) 目賀田男爵ニ申シマスガ、御低聲デ何分大藏大臣
ノ御耳ニ達シマセヌノデ……故ニ御登壇ヲ煩ハシタイト考ヘマス

〔男爵目賀田種太郎君演壇ニ登ル〕

○男爵目賀田種太郎君 昨日御尋ヲ致シマシタノハ目下ノ財政ノ狀態ニ於テ
剩餘金モ減ジ、其他國庫所屬資金モ限アル場合ニナッテ居ル、然ルニ東洋ノ今
日ノ狀況ニ鑑ミマス、何時不時ノ財政上ノ要求ヲ生ズルヤモ測リ難イ、此
場合ニ於テ政府ハ如何様ナル措置ヲ執ラレヤト云フコトヲ御尋イタシマシ
タラバ、時ニ應ジテ緊急ノ處分ヲナスト云フヤウナ御答ガアッタヤウニ拜承イ
タシタガ、少シク明瞭ニ了解イタシマセヌ、今一應伺ヒタイ、斯ウ云フノデ
アリマス

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 目賀田男爵ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、國家不時
ノ變ガアッタラバ如何ニスルカト云フ御尋デアリマスルガ、不幸ニシテ非常ノ
變ガ起リマスレバ、其非常ニ處スルノ處置ヲ其時ニ至ッテ講ズルヨリ外ゴザ
リマセヌ、今日ニ於テ斯様ナコトガアレバ斯様スルニスルト云フコトハ申上
ゲル譯ニハ參リマセヌ

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ御發議ガナイト認メマスカラ採決ヲ致シマ
ス、御異議ガナケレバ全部ヲ問題ニ供シマス、全部豫算委員長報告ニ同意ノ
諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 此際御諮リヲ致シタイコトガゴザイマス、衆議院
ヨリ送付セラレマシタ大正五年度歳入歳出總豫算追加案第三號、大正五年度
歳入歳出總豫算追加案第四號、大正五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案特
第三號、大正五年度特別會計歳入歳出豫算追加案第四號、豫算外國庫ノ負
擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件追第二號、大正五年度歳入歳出總豫算追
加案第五號、右六案ノ審査期限ヲ定ムル件ヲ議事日程ニ追加シテ、此際議シ
テハ如何デゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマスカラ議事日程ハ追加セラレ
マシタ

〔左ノ送付文ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

(第三號)大正五年度歳入歳出總豫算追加案
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正五年二月二十五日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長島田三郎

(第四號)大正五年度歳入歳出總豫算追加案
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正五年二月二十五日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長島田三郎

(特第三號)大正五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正五年二月二十五日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長島田三郎

(特第四號)大正五年度特別會計歳入歳出豫算追加案
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正五年二月二十五日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長島田三郎

(追第二號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正五年二月二十五日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長島田三郎

(第五號)大正五年度歳入歳出總豫算追加案

貴族院議事速記録第十六號

大正五年二月二十六日

(第三號)大正五年度歳入歳出總豫算追加案外五件審査期限ヲ定ムルノ件
北海道會法中改正法律案 第一讀會ノ續

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
大正五年二月二十五日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長島田三郎

○子爵岡部長職君 唯今議題ニ相成リマシタル六案ノ審査期限ハ別ニ時日ヲ定メズ、審査結了次第御報告ヲ致スコトニ致シタイト思ヒマス

○谷森眞男君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 岡部子爵ノ發議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、議長ガ申上ゲルノガ前後ニナリマシタガ、本日モ通牒文ノ朗讀ハ省略ヲ致シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二、北海道會法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

北海道會法中改正法律案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十五日

右特別委員副委員長

男爵南岩倉 具威

貴族院議長公爵徳川家達殿

北海道會法中改正法律案

(小字ハ特別委員ノ修正文、――ハ同削除ノ符號ナリ)

第五條中第二號^{○及}第三號及第四號ヲ左ノ如ク改ム^メ第四號ヲ第五號トシ以下順次繰下ク

二 家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者

三 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

四 六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

第八條中「其ノ職ヲ失フ」ノ下ニ「禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ヲ除ク外」^{ノ宣告ヲ受ケ}

ヲ加フ

〔男爵南岩倉具威君演壇ニ登ル〕

○男爵南岩倉具威君 委員長ガ差支ガゴザイマスノデ私ヨリ御報告ヲ申上ゲ
マス、本案ノ委員會ハ兩日ニ涉リマシテ會議ヲ致シマシタ、十分ナル説明モ
得マシテ決了イタシマシタガ、修正ヲ致シマシタノデ、其事ヲ先キニ御報告
申上ゲマス、極ク約メテ申上グレバ政府ガ初メ衆議院ニ提出イタシマシタ原
案ノ通り換ヘタノデゴザイマス、即チ第五條中、第二號ノ下ニ「及」ト云フ字
ヲ入レマシタ、ソレカラ其次ヘ參リマシテ第三號ト云フ下ニ「及第四號」ト
云フ文字ガアリマスノヲ、ソレヲ削リマシタ、ソレカラ左ノ如ク改ムト云フ
「ム」ノ字ヲ削リマシテ「メ」第四號ヲ第五號トシ以下順次繰下シ「斯ク云フ工合
ニ換ヘマシタ、ソレカラ又第八條中、刑ニ處セラレタル者ト云フ「ニ處セラ
レ」ト云フ文字ヲ削リマシテ、「ノ宣告ヲ受ケ」ト換ヘマシタ、豫メ此事ヲ申上
ゲテ置キマス、本案ハ大體ニ於テハ唯道會議員ノ任期ガ三年ト云フノヲ四年
ニ延長シタノト、ソレカラ決算報告ノ期限ヲ短縮シテ……一箇年短縮スル
ト云フコトニ過ギナイノデゴザイマス、此事ニ關シマシテハ衆議院ニ於テモ何
ノ異議モナク、我々ニ於テモ段々事情ヲ聞イテ見マスレバ、明治三十四年ノ
制定デアリマシテ、今日デハモウ十數年ノ星霜ヲ經テ居リマスノデ、他ノ府
縣ト同様ナ制度ニナリマシテモ何等差支ナイト認メマシテ、贊成ヲ致シマシ
タ譯デゴザイマス、唯衆議院ニ於キマシテハ資格ノ喪失ニ關シテ宣告主義ヲ
執ラズシテ確定主義ニシタイ云フコトデ、サウ云フ修正ヲ加ヘテ當院ニ同付
ニナリマシタ、詰リ衆議院ノ主張ハ人權尊重ト云フ一點ニノミ重キヲ置イテ
主張ガアルノデゴザイマス、ソレニハ初メ政府ハ反對デアリマシテ、道德上
又實際上ノ便宜ヲ主トシテ考ヘテ見レバ、矢張り宣告主義デ宜イト、斯ウ云フ
意見デアッタノデス、我々委員ニ於キマシテモ其方ガ適當ナリト信ジマシテ、
十分考慮ノ上報告通リニ決定ヲ致シタ次第デアリマス、ドウゾ御贊成ヲ願ヒ
マス

○議長(公爵德川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトス
ル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○伯爵吉井幸藏君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ……

○伯爵柳原義光君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセ
ヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開キマス……委員長報告通リト
云フ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○谷森眞男君 引續イテ三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○小野田元熙君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第三讀會ヲ開キマス……第二讀會ノ決議通リデ御
異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第三、大正二年度歲入歲出總決算、大正二年度各
特別會計歲入歲出決算報告並決議案一件、委員長報告

大正二年度歲入歲出總決算並大正二年度各特別會計歲入歲出決算及既往年
度檢査未確定金額ノ檢査確定シタルモノヲ審査スルニ

第一

大藏省ニ於テ政府保有英貨六拾萬磅ヲ株式會社日本興業銀行ニ對シ大
正二年八九兩月中明治二十七年法律第十六號ニ基キ日本銀行ヲ通シ年
利二分ヲ以テ融通シタル件

右ハ別紙決議案ノ通トス

第二

大正二年度各特別會計歲入歲出決算內務省所管臺灣總督府歲出經常部第十八款專賣局第七項專賣品補償及購買費中臺灣總督府專賣局ノ支出ニ係ル件

大正二年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管帝國鐵道資本勘定歲出第一款鐵道建設及改良費第二項改良費中鐵道院ノ支出ニ係ルモノ三件
同上第二款鐵道用品及工作費第一項用品及工作費中鐵道院ノ支出ニ係ル件

同上收益勘定歲出第一款鐵道作業費第一項事業費中鐵道院ノ支出ニ係ルモノ二件

右ハ政府ノ措置穩當ヲ闕クモノト認ム

第三

大正二年度歲入歲出總決算歲入經常部第一款租稅第四項相續稅中新發田稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スル件

大正二年度歲入歲出總決算歲出經常部內務省所管第五款傳染病研究所第三項事業費中傳染病研究所ノ支出ニ係ル件

大正二年度歲入歲出總決算歲出經常部海軍省所管第二款軍事費第十二項艦營費中海軍煉炭製造所ノ支出ニ係ル件

大正二年度歲入歲出總決算歲出經常部遞信省所管第二款遞信費第一項俸給中遞信省ノ支出ニ係ル件及遞信大臣官房經理課大阪出張所ノ支出ニ係ル件

大正二年度歲入歲出總決算歲出臨時部陸軍省所管第十九款臨時軍事費第一項臨時軍事費中陸軍會計監督部ノ支出ニ係ルモノ三件

大正二年度歲入歲出總決算歲出臨時部海軍省所管第六款軍備補充費第一項軍艦製造費中海軍省經理局ノ支出ニ係ル件及同上第三項造船造兵及修理費中海軍省經理局ノ支出ニ係ル件

大正二年度各特別會計歲入歲出決算內務省所管朝鮮總督府歲出臨時部第八款營繕費第二項新營及設備費中朝鮮總督府ノ支出ニ係ルモノ二件
同上第十款鐵道建設及改良費第一項建設費中朝鮮總督府鐵道局ノ支出ニ係ル件

同上臺灣總督府歲出臨時部第一款特別事業費第一項水利事業費中臺灣總督府土木局ノ支出ニ係ル件

大正二年度各特別會計歲入歲出決算大藏省所管帝國鐵道資本勘定歲出第一款鐵道建設及改良費第二項改良費中鐵道院ノ支出ニ係ル件

大正二年度各特別會計歲入歲出決算文部省所管東京帝國大學歲出經常部第一款東京帝國大學第二項物件費中東京帝國大學ノ支出ニ係ル件
右ハ政府ニ對シ將來ノ注意ヲ促スヘキモノト認ム

第四

其ノ他異議ナシ

右及報告候也

大正五年二月二十四日

決算委員副委員長

伯爵川村鐵太郎

決議案

貴族院議長公爵德川家達殿

貴族院ハ大正二年度ニ於テ政府カ日本興業銀行ヲ救済スル爲國庫金ノ運用ト稱シ豫算ニ依ラスシテ同行ニ對シ金五百八拾五萬四千八百參拾參圓餘ヲ貸付シタルハ不當ノ處置ナリト議決ス

〔伯爵川村鐵太郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵川村鐵太郎君 本日決算委員長ハ差支ガアリマシテ私ガ代理ヲ致シマス、決算委員會ハ去ル十二月七日、十三日ノ兩日ニ於キマシテ正副委員長ノ選舉、各分擔委員ノ決定、主査ノ選舉等ヲ終リマシテ、二月二日ニ至リマシテ總會ヲ開キマシテ、大藏大臣ノ説明ガアリマシタアトデ、ソレ／＼質問ガアリマシタガ、二月二十日マデノ審査期限ヲ附シマシテ分科會ニ之ヲ移シマシタ、分科會ニ於キマシテハ數回ノ會議ヲ重ネマシテ慎重ニ審議ヲ致シマシタ結果、二月ノ二十四日ノ總會ニ各主査カラ詳細ナル報告ガアリマシタ、其際ニ決議案及決議事項ヲ提出ニナリマシタ、決算委員會ニ於キマシテハ各主査ノ詳細ナル報告ヲ承認イタシマシテ、之ヲ其通り決定イタシマシタ、審査イタシマシタ所ガ、大正二年度ノ歲入歲出總豫算ニ計上セラレマシタ所ノ經常部ノ歲入ハ五億七千五百四十二萬八千四百七十七圓餘デゴザイマス、臨時部歲入ニ於キマシテハ、一億四千六百五十四萬七千四百三十六圓九十二錢九厘デアリマス、歲入ノ總計ハ七億二千九百九十七萬五千四百八十四圓四十五錢一厘デアリマス、之ニ對シマシテ經常部歲出ハ四億五千五百六十三萬五千八百五圓十四

錢二厘、臨時部歳出ハ一億五千七百九十九萬八千二百四十圓十八錢七厘、歳出ノ合計ハ五億七千三百六十三萬三千九百二十五圓三十二錢九厘アリマス、歳入歳出ノ差ガ一億四千八百三十四萬五千五百五十九圓十二錢二厘ノ剩餘ヲ生ジテ居リマス、大正二年度ノ豫算額ニ此決算ヲ對照シテ見マスルト、經常部ニ於キマシテ四千二百二十萬二千七百四十九圓五十二錢二厘、臨時部ニ於キマシテ八千五百三十五萬五千九百六十四圓九十二錢九厘ノ差増ガアリマス、其經常部ニ於テ差増ノ起リマシタ重ナル原因ハ租稅收入ノ増加ガ三千二百五十三萬六千七百七圓九十五錢二厘、印紙收入ノ増加ガ百七十五萬九千七百五十一圓餘デアリマシテ、其他官業及官有財産ノ收入ガ八百九十七萬七千二百二十五圓六十二錢九厘、是ガ重ナル増加ノ原因デアリマス、臨時部ニ於キマシテ重ナル増加ノ原因ハ前年度ノ繰入金増加ガ八千七百七十三萬三千六百七十圓七十二錢八厘ト云フモノガ増加シテ居リマスカラ、歳入ニ於テ増加ノ總計ハ一億二千七百五十五萬八千七百十四圓四十五錢一厘ニナツテ居リマス、歳出ノ方ニ於キマシテハ二年度ノ決算額ガ五億七千三百六十三萬三千九百二十五圓三十二錢九厘デアリマシテ、其豫算額ノ五億九千四百四十一萬六千七百七十圓ニ對照シマスルト、二千七十八萬二千八百四十四圓六十七錢一厘ヲ減少シテ居リマス、大正二年度ノ歳出豫算額ハ五億九千四百四十一萬六千七百七十圓デアリマスガ、豫算ノ決定後ニ於キマシテ會計法第二十一條、二十二條、三十九年法律第五十二號、四十四年法律二號ニ依リ前年度ノ豫算殘額ヲ繰入レマシタ高ガ七千四百二十二萬七千八百二十二圓五十九錢九厘トナリマス、其他ニ三十六議會ニ於テ協賛ヲ經テ居リマス所ノ臨時支出ノ高、豫備金外臨時支出ヲナシタル高ガ六百七十三萬五百二十二圓五十七錢ヲ増加シテ居リマス、之ヲ合計イタシマスルト六億七千五百五十七萬五千五百五十六圓十六錢デアリマシテ、二年度ノ決濟額五億七千三百六十三萬三千九百二十五圓三十二錢九厘ヲ差引キマス、九千七百九十四萬四千八百八十九圓八十四錢ノ内七千二百五十七萬八千八百五十錢ハ翌年度ニ繰越サレテ居リマス故ニ、二千五百三十六萬三千八百八十一圓三十三錢九厘ガ不用額トナツテ居リマス、此繰越サレマシタ内三十九年法律第五十二號ニ依ッテ三千七百九十一萬二千二百七十二圓十七錢九厘ハ臨時軍事費ノ支辨ニ係ル兵器被服ノ製造ノ費用ガソレダケ含マレテ居リマスカラ、純粹ノ繰越金ハ三千四百六十六萬六千七百三十六圓餘デアリマス、其他大藏省證券ハ二百三十五圓減少シテ居リマス、會計検査院ガ大正二年度總決算ニ對

シマシテ審査ヲシマシタ未確定ニ屬シマス分ハ、歳入ニ於キマシテ四十七萬九千九百六十五圓四十七錢、歳出ニ於キマシテ二萬九千八百八十七圓一錢四厘、特別會計ニ於キマシテ內務省所管朝鮮總督府歳出ニ於テ、內務省所管樺太廳歳入ニ於テ、大藏省所管帝國鐵道資本勘定歳出ニ於テ、帝國鐵道收益勘定歳出ニ於テ、海軍省所管海軍探炭所歳出ニ於テ、二百五十八萬一千八百六圓二十九錢九厘ヲ除キマシタ外ハ未確定ノ金額ニナツテ居リマス、既往年度ニ於キマシテ二件、金額ガ二萬四千六百六十六圓三十二錢三厘、是ダケハ既往年度ノ未確定金額ノ検査確定イタシマシタ高デアリマス、豫算、法律、勅令違背ノ事項ト致シマシテ會計検査院ノ批難イタシマシタ事項ハ、一般會計歳入ニ於キマシテ二十六件、歳出ニ於テ三十三件、特別會計歳出ニ於テ二十三件、其他決算上ニハ現ハレテ居リマセヌケレドモ、官金ニ於キマシテ一件、總計八十三件ノ批難事項デアリマス、昨年ノ批難事項ニ比較シテ見マスルト約五割批難事項ガ減ジテ居リマス、既往年度ニ遡リマシテ四十一年ノ批難事項ニ比較ヲ致シマスルト約半額ニナツテ居リマス、餘程批難事項ハ減少ノ傾ニアルモノト御承知ヲ願ヒタウゴザイマス、殊ニ陸軍省ニ於キマシテハ餘程ノ減少デアリマスカラ、之ヲ附加ヘテ申上ゲテ置キマス、陸軍省ニ於キマシテハ本年度ノ批難事項ハ一般、特別會計ニ於キマシテ五件デアリマス、明治四十五年大正元年度ニハ十一件、二年度ニハ二十八件、三年度ニ於キマシテハ二十三件、斯ク減少ヲ來タシテ居リマス、是ヨリ決議案ノ内容ニ付キマシテチヨット説明ヲ致シテ置キマス、第一ノ決議案ハ不當決議トシテ決算委員會ニ於テ決シタモノデアリマシテ、此所管ノ審査ヲ委託セラレマシタ所ノ第一分科主査ノ陳述セラレマシタル理由ヲ承認イタシマシテ此決議案ヲ提出シタ譯デアリマス、其理由ノ概要ハ興業銀行ニ於キマシテ、明治三十九年ヨリ大正二年マデノ間ニ於キマシテ多大ノ關損ヲ生ジマシテ、其關損ノ原因ハ或ル金山ニ貸付ヲ致シマシタ、ソレカラ所有有價證券價格ノ減少ガ重ナルモノデアリマシテ、七百六萬餘圓ノ整理資金ヲ要スル程ノ關損ヲ生ジタノデアリマス、政府ニ於キマシテハ此救済ヲ致スコトニナリマシテ、其手續ハ倫敦ニ於キマシテ政府所有ノ英貨六十萬磅ヲ年利二分ニ之ヲ預ケ入レマシテ、倫敦ニ於テ決濟ヲシマスルニハ英貨ヲ以テスルト云フ條件、又何時デモ之ヲ引出シ得ルト云フ條件ヲ附シマシテ、興業銀行ノ代理店ニ是ガ預入ヲ致シテ置イタ次第デアリマス、其他日本銀行ヨリ三百萬圓、正金銀行ヨリ二百五十萬圓ノ金ヲ預ケ……年利二

分ヲ以テ預入レマシテ、興業銀行ハ之ヲ興業資金ノ財源ト致シマシテ、運用

イタシマシテ、此鞘ヲ取リマシテ此闕損ノ填補ヲ致スト云フ計畫ヲ立テタノ
デアリマス、即チ政府ハ融通金ノ運用利鞘ヲ以テ此填補ヲ致スノ目的ト致
シテシタノデゴザイマス、興業銀行ニ於キマシテハ其後著々此整理ヲシマシ
テ、約百三十萬餘圓ノ整理ガ出來タサウデアリマスルガ、會計検査院ハ是ハ銀
行ノ資金ノ融通トハ云フモノノ、長期ニ互ル所ノ貸付金ニ外ナラヌノデア
カラシテ、政府ノ根據ト致シマスル所ノ明治二十三年法律第二十一號、明治二
十七年法律第十六號ノナンニ依ッテ一時ノ貸借ト見ルコトハ出來ナイ、數年ニ
互ル所ノ貸借デアアルニ依ッテ、法律ニ違反ハシテ居ラヌケレドモ……表面ハ法
律ニ違反シテ居ラヌガ、其精神ニ戾ッテ居ルノデアアルカラシテ、是ハ帝國議會
ノ協賛ヲ經テナスベキ性質ノモノデアアル、所謂破格ノ低利ヲ以テ長期ノ貸付
ヲナスモノデアアル、之ヲ歲出豫算決算ニ編入セズニ施行シタノデアアルト云フ
ノデ、是ハ不當デアアルト検査院ガ認メテ批難ヲシタノデアリマス、決算委員
會ニ於キマシテモ之ト同ジヤウナ見解ヲ以チマシテ不當ト決シマシテ、此ニ
決議案ヲ添ヘテ提出イタシマシタ譯デアリマス、次ニ政府ノ處置穩當ヲ闕ク
モノト認メマシタ件數ガ八件アリマス、又政府ニ對シ將來ノ注意ヲ促スベキ
モノト決議イタシマシタモノガ十五件アリマス、是ハ決議案ヲ提出スル程デ
ハナイケレドモ、委員會ニ於テ決議事項トシテ決シマシタモノデアリマス、
其他ノモノニ付キマシテハ事柄簡明ニシテ追究ヲ要シナイモノハ異議ナシト
云フコトニナリマシテ、決算上支出ガ正當デアッタモノモ無論異議ナシノ中
ニ這入ッテ居リマス、斯ク決シマシタ、此餘ノ分ハ速記録ニ詳シク出テ居リマ
スカラ省略ヲ致シマシテ、是デ決算委員會ノ報告ヲ終リマス
○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發言ガナイト認メマスカラ採決ヲ致シマ
ス、川村決算委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第四、鐵道敷設法中改正法律案、衆議院提出、
第一讀會

鐵道敷設法中改正法律案
右本院提出案及送付候也

大正五年二月二十四日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長島田三郎

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

鐵道敷設法中改正法律案

鐵道敷設法中左ノ通改正ス

第二條第一項奥羽線ノ部第三號ヲ削ル

○荒井泰治君 是ハ衆議院提出ノ案デゴザイマスルガ、政府ノ御所見ハ如何
ナモノデゴザイマセウカ、一應ノ御説明ヲ願ヒタイノデゴザイマス

〔政府委員添田壽一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(添田壽一君) 本案ニ對シマスル政府ノ所見ハ、詰リ此地方ニハ
豫テ豫定線敷クノ考ヲ有ッテ居ッタ次第デゴザイマス、然ルニ此度此豫定線
ナルモノヲ改メマシテ、輕便線ヲ敷設スルト云フ衆議院ノ提案デアリマス、
政府ハ此地方ノ鑛山ニ富ミ、又一方新庄小牛田間ニ本鐵道ノ貫通モ近キニア
リマスルガ故ニ、ソレヲ以テ本鐵道ハ先ヅ十分ナラムト考ヘマスガ故ニ、是
ハ輕便線ヲ必要トセラルルナラバ、強ヒテ反對スルノ必要ヲ見出サナカッタ
デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス

〔成瀬書記官朗讀〕

鐵道敷設法中改正法律案特別委員

伯爵清閑寺 經房君 子爵堀河 護麿君 子爵野村 益三君

平井晴二郎君 古市 公威君 男爵徳川 厚君

男爵岩倉 道俱君 石井省一郎君 本間 金之助君

○議長(公爵徳川家達君) 第五、壯丁税法案、第六、癈兵、戰病死者遺族、
軍人家族救護法案、衆議院提出、第一讀會

壯丁税法案

右本院提出案及送付候也

大正五年二月二十四日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長島田三郎

壯丁税法

第一條 帝國臣民ニシテ常備兵役ニ服セサル男子ハ本法ニ依リ壯丁税ヲ納ムル義務アルモノトス

第二條 壯丁税ハ左ノ税率ニ依リ徵兵適齡ニ達シタル翌年ヨリ七年間之ヲ賦課ス

一 前三年間 定額税 第三種所得税額ノ百分ノ二十

二 後四年間 定額税 第三種所得税額ノ百分ノ十

第三條 比例税ノ課税標準ト爲スヘキ第三種所得税額ハ左ノ區別ニ依リ之ヲ算定ス

一 戸主カ納税義務者ナル場合ニ於テハ本人ノ納ムル第三種所得税ノ全額ニ依ル

二 家族カ納税義務者ナル場合ニ於テハ本人ノ納ムル第三種所得税ノ全額ト戸主ノ納ムル第三種所得税ノ半額トヲ合算シタルモノニ依ル

三 家族二人以上同時ニ納税義務者ナルトキハ前號ノ規定ニ依リ課税標準ニ算入スヘキ戸主ノ納ムル第三種所得税ノ半額ハ納税義務者ノ數ニ之ヲ平分ス

四 戸主ト家族トカ同時ニ納税義務者ナルトキハ戸主ノ納ムル第三種所得税ノ半額ハ前二號ノ規定ニ拘ラス課税標準ニ之ヲ算入セス

前項ノ第三種所得税額ハ其ノ年一月一日現在ノ前年分ノ税額ニ依ル

第四條 左ニ掲クル者ニハ服役又ハ召集解除ノ翌年ヨリ起算シ六年間第二條第二號ノ税率ニ依リ壯丁税ヲ賦課ス

一 教育召集ニ應シタル者

二 陸軍六週間現役ニ服シ現ニ官公立小學校ノ教職ニ在ル者

第五條 左ニ掲クル者ニハ徵兵適齡ニ達シタル翌年ヨリ起算シ七年ニ達セサルトキハ其ノ殘期間第二條第二號ノ税率ニ依リ壯丁税ヲ賦課ス但シ徵兵適齡以前ヨリ志願ニ依リ又ハ徵集ヲ延期若ハ猶豫セラレタル後兵籍ニ入りタル者ニ在リテハ其ノ服役ノ翌年ヨリ起算ス

一 現役中補充兵役若ハ國民兵役ニ編入セラレ又ハ兵役ヲ免セラレタル者

二 第二十一條ニ掲クル者ニシテ兵籍ヲ離レ又ハ前號ニ該當スル者

前項ノ殘期間ハ補充兵役又ハ國民兵役ニ編入セラレ若ハ兵役ヲ免除セラ

レ又ハ兵籍ヲ離レ若ハ現役ニ服セサルコトノ確定シタル年ヲ算入セス

第六條 現役ニ服スル者ハ營スルコトナク國民兵役ニ編入セラレ若ハ兵役ヲ免除セラレタルトキハ其ノ編入若ハ免除ノ翌年ヨリ起算シ第二條ノ規定ニ從ヒ七年間壯丁税ヲ賦課ス

第七條 現役ニ服セスシテ補充兵役ニ編入セラレタル者又ハ徵集ヲ延期若ハ猶豫セラレタル者ハ現役ニ服セサルコト又ハ教育召集ニ應セサルコト確定スルニ至リタル年迄壯丁税ノ徵收ヲ猶豫シ其ノ翌年ヨリ起算シ第二條ノ規定ニ從ヒ七年間壯丁税ヲ賦課ス

第八條 現役中又ハ豫備役兵ニシテ部隊編入中公務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ其ノ役ヲ免セラレタル者ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ壯丁税ヲ課セス

第九條 納税義務者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ爾後ノ納期ニ屬スル分ヨリ壯丁税ヲ課セス

一 戰時又ハ事變ニ際シ召集ニ應シタルトキ

二 死亡シタルトキ

三 無期又ハ六年以上ノ懲役若ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ處セラレタルモノナルトキ

第十條 納税義務者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ壯丁税ヲ免除ス

一 癱疾不具ノ爲職業ニ従事スル能ハサルトキ

二 貧民トシテ公共ノ救助ヲ受クルトキ

三 補充兵ニシテ部隊編入中公務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ其ノ役ヲ免セラレタルトキ

四 豫備役中國民兵役ニ編入セラレ又ハ兵役ヲ免セラレタル者

第十一條 納税義務アル者ハ納税義務發生ノ年一月中ニ其ノ本籍地及兵役關係ヲ詳記シ政府ニ申告スヘシ戸主ニ非サル者ハ戸主ノ氏名及住所ヲモ併セテ申告スヘシ

納税義務者又ハ其ノ戸主第三種所得税納税義務者ナルトキハ前項ノ外毎年一月中ニ第三條第二項ノ規定ニ依ル所得税額及比例税ノ課税標準算定ニ必要ナル事項ヲ政府ニ申告スヘシ

第十二條 第八條、第九條及第十條ニ該當スルトキハ納税義務者又ハ其ノ

戸主家族ハ其ノ旨ヲ政府ニ申告スヘシ

第十三條 政府ハ定額税ニ付テハ納税義務發生ノ年四月中ニ納税義務アルコトヲ決定シ比例税ニ付テハ毎年四月中ニ其ノ課税標準ヲ決定シ之ヲ納税義務者ニ通知スヘシ

第十四條 納税義務者前條ノ決定ニ對シ異議アルトキハ通知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ不服ノ事由ヲ具シ政府ニ申出テ其ノ審査ヲ求ムルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ政府ハ税金ノ徵收ヲ猶豫セス

第十五條 前條ノ請求アリタルトキハ審査委員會ヲ開キ其ノ諮問ヲ經テ政府之ヲ決定シ納税義務者ニ通知スヘシ

第十六條 前條ノ決定ニ對シ不服アルトキハ訴訟又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十七條 壯丁税ハ年額ヲ二分シ左ノ納期ニ於テ之ヲ徵收ス

第一期 其ノ年七月一日ヨリ三十一日限

第二期 翌年一月一日ヨリ三十一日限

第十八條 納税義務者家族ナル場合ニ於テハ戸主ハ壯丁税ノ納付ニ付連帶シテ其ノ責ニ任ス

第十九條 壯丁税ハ納税義務者ノ住所地方ヲ以テ納税地トシ住所ナキトキハ居所地方ヲ以テ納税地トス但シ住所地方以外ニ在ル納税義務者ハ申告シテ居所地方ニ於テ納税スルコトヲ得

本法施行地内ニ住所又ハ居所ナキ者ハ納税地ヲ定メ政府ニ申告スヘシ申告ナキトキハ本籍地方ヲ以テ納税地トス

第二十條 納税義務者納税地ニ現住セサルトキハ壯丁税ニ關スル事項ヲ處理セシムル爲メ納税管理人ヲ定メ政府ニ申告スヘシ

第二十一條 陸海軍ノ將校、同相當官、准士官、見習士官、同相當官、下士、候補生及兵籍ニ編入セラレタル學生、生徒ニハ其ノ在籍中本法ヲ適用セス但シ第五條ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス

第二十二條 徵兵事務ヲ掌ル官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ事務ニ關スル事項ヲ收税官廳ニ報告スヘシ

第二十三條 第十一條ノ申告ヲ爲サス又ハ虚偽ノ申告ヲ爲シタル者ハ科料ニ處ス

第二十四條 壯丁税ヲ逋脱シタル者ハ其ノ逋脱金高三倍ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第二十五條 第二十條ノ申告ヲ爲ササル者ハ五圓以下ノ科料ニ處ス

第二十六條 本法ヲ犯シタル者ニハ刑法第三十八條第三項但書、第三十九條第二項、第四十條、第四十一條、第四十八條第二項、第六十三條及第六十六條ノ例ヲ用キス

第二十七條 北海道府縣市區町村其ノ他ノ公共團體ハ壯丁税ノ附加税ヲ課スルコトヲ得ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ハ本法施行ノ年以後徵兵適齡ト爲リタル壯丁及本法施行ノ年ニ於テ現ニ徵收ヲ延期又ハ猶豫セラレタル者ヨリ之ヲ適用ス

本法ハ徵兵令ヲ施行セサル地方ニハ之ヲ施行セス但シ本法施行地内ニ本籍ヲ有スル者ハ本法施行地方外ニ在ルモ仍本法ヲ適用ス

廢兵、戰病死者遺族、軍人家族救護法案

右本院提出案及送付候也

大正五年二月二十四日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵德川家達殿

廢兵、戰病死者遺族、軍人家族救護法案

第一條 本法ニ於テ廢兵トハ戰闘其ノ他公務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ軍人恩給法ニ依リ增加恩給ヲ受クル者、戰病死者遺族トハ戰時ノ際戰死シ又ハ從軍中戰闘其ノ他公務ノ爲傷痍若ハ疾病ニ因リ死シタル陸海軍人、軍屬、其ノ他之ニ準スヘキ者ノ配偶者、直系親族又ハ兄弟姊妹ニシテ其ノ死歿ノ時ヨリ引續キ之ト同一戸籍内ニアル者、軍人家族トハ現役ニ服スル陸海軍人及豫備役後備役ノ勤務演習又ハ戰時若ハ事變ニ際シテ召集セラレタル陸海軍人ノ配偶者、直系親族又ハ兄弟姊妹ニシテ召集以前ヨリ引續キ之ト同一戸籍内ニ在ル者ヲ謂フ

第二條 廢兵、戰病死者遺族及軍人家族ニシテ救護ヲ要スルモノハ本法ニ依リ軍事救護金ヲ給ス但シ他ノ法令ニ依リ給與ヲ受クル權利ヲ有スル者

ハ其ノ給與ヲ受クルモ尙救護ヲ要スル場合ニ限ル

第三條 軍事救護金ハ國庫ノ負擔トス

第四條 軍事救護金ノ給與ハ一家ノ生計維持ヲ限度トシテ一時又ハ定期ニ之ヲ支給ス但シ其ノ資格及支給金額ハ命令ノ定ムル所ニ依リ府縣知事之ヲ決定ス

第五條 救護事務ヲ掌ラシムル爲市東京市、京都市、大阪市ニ於テハ區町村ニ軍事救護委員ヲ置ク

軍事救護委員ハ其ノ勤務ニ相當スル報酬ヲ受ク
前項ノ報酬ハ國庫ノ支辨トス

第六條 軍事救護委員ハ其ノ區域内ニ住所ヲ有スル者ニシテ第二條ノ救護ヲ要スル者及其ノ生計其ノ他ノ情況ヲ審査シ之ヲ市町村長ニ申告スヘシ市町村長前項ノ申告ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ府縣知事ニ申達スヘシ府縣知事前項ノ申達ヲ受ケタルトキハ申達書到達ノ日ヨリ十四日以内ニ決定ヲ爲スヘシ

第七條 救護ヲ要スル事情急迫ナル場合ニ於テハ市町村長ハ假處分ヲ以テ軍事救護金ノ給與ヲ爲スコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ市町村長ハ市町村費ヲ以テ一時之ヲ繰替ヘ支辨スヘシ

第八條 市町村長前條ノ假處分ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ府縣知事ニ申告シ其ノ決定ヲ求ムヘシ
前項ノ場合ニ於テ府縣知事給與ヲ爲スヘカラサルモノト決定シタルトキハ市町村長ハ其ノ假處分ヲ取消スヘシ但シ既ニ支辨シタル給與金ハ國庫ノ負擔トス

第九條 第四條及第八條第一項ニ依ル決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十條 軍事救護ヲ目的トスル私立團體ニシテ成績優良ナリト認ムルモノニ對シテハ軍事救護金中ヨリ補助金ヲ下附スルコトヲ得

第十一條 補助金ヲ下附スヘキ者及其ノ補助金額ノ決定ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 北海道、沖繩縣其ノ他市町村制ヲ施行セサル地ニハ命令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣武當時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武當時敏君) 此壯丁稅法案ニ付キマシテハ政府ハ深ク研究ヲ要スルコトガゴザイマス、此儘ニシテ同意ヲ表スル譯ニ參リマセヌ、ソレカラ次ノ癡兵並軍人遺族救護法ガ十分デナイト云フコトニ付キマシテハ深ク同情ヲ有シマスルケレドモ、ソレモ財政上ノ關係ニ於テ今日ノ場合同意ヲ表スルコトガ出來マセヌコトヲ甚ダ遺憾ト致シマス

○江木千之君 大藏大臣ニチヨット伺ヒタイコトガアリマスガ、此第六ノ癡兵云々ノ法律案デアリマスガ、唯今大藏大臣ハ財政ノ都合ニ依リ俄ニ同意スルコトハ出來難イト云フヤウナ御意見デアッタト伺ヒマスガ、ソレハ隨分家族救護法ナドト云フモノデ、大分是ハ範圍ハ廣クナッテ居リマスケレドモ、此中ニハドウモ棄テ置カレヌコトガアルデアラウト考ヘルノデアル、癡兵ノ如キ或ハ手ヲ失ヒ、足ヲ失ヒ、殆ド自由ニ動クコトガ出來ナイヤウナ者ガアルノデアル、ソレ等ノ者ハ過日モ此ニ現ハレタル軍人恩給法ノ改正案ニ依ッテ、假ニアノ案ノ如ク之ヲ恩給ヲ増加スルコトシテ見タ所ガ寔ニ僅ナモノデアル、又今日現ニ癡兵ニ對シテ増加恩給、免除恩給ヲ給シテ居ル所ヲ見ルニ、免除恩給ハ六七十圓、増加恩給ハ僅ニ百圓位ナモノデアアル、百六七十圓ヲ以テ、此不具ナ者ハ獨リ動クコトガ出來ナイカラ、ドウシテモ常ニ保護者ガ要ルノデアリマス、其保護者ヲ置イテ一箇年百六七十圓、一箇月十四五圓デ生存シテ行クト云フコトハ殆ド出來難イコトデアラウト考ヘル、且又是等ノ癡兵ハ病ニ罹リ易イノミナラズ、常ニ傷所ノ痛ミヲ覺エルト云フコトデ、終身日トシテ其苦シミヲ免レルコトハナイノデアアル、是ハ自分ノ過失ニ依ッテ受ケタル傷痕デハナイノデアアル、國家ノ爲ニ犠牲ニナッタノデアアル、其人ヲシテ身ヲ終ルマデ日トシテ此苦痛ヲ忘レルコトガナク、且ツ十分ニ動クコトガ出來ヌト云フモノヲ其儘ニシテ置クト云フコトハ國家トシテ實ニ忍ビヌコトデアラウト考ヘル、且又之ヲ見ル國民ハ殷鑑遠カラズデアアル、戰爭ニ行ッテ容易ニ負傷スルコトハ出來ナイト云フヤウナ感ジヲ起シテ、一般ノ國民ニ對シテハ非常ニ惡イ感ヲ與ヘ惡影響ヲ來タスト云フ結果ガアルノデアリマス、是等ノモノハ生存シテ行ク最下程度迄ハドレダケノ金ガアレバ僅ニ生存シテ行クコトガ出來ルト云フ、此生計ノ最下程度ヲ目的トシテ是等ノモノヲ救助スル途ガ立タ

ナクテバナラヌ、將校ガ幾ラデアル、下士ハ其何分ノ一デアル、兵卒ハ其何分ノ一デアルト云フ割合デ行ツタナラバ、實際ノ生活ニ困ルモノデアル、生存ガ出來ナイモノデアル、今日現ニ生存ガ出來ナイノデアルガ、今日現ニ斯ノ如キモノガ存シテ居ルノデ、本員ハ前ノ議員會我子爵、又議員ニアラザル佐藤將軍ナドトハ數年其事ニ付テ救済ノ方法ヲ立テラレルヤウニト云フコトヲ攻究シテ居ルノデアルガ、今日マダ政府ニ於テ取上ゲテ貰フコトガ出來ナイ、何時モ財政ノ問題ト云フコトデアリマスガ、此金額ヲ計ツテ見ルト、是等ノ部分ニ對シテノ救助金ト云フモノハ聊カデ済ムノデアル、決シテ此財政上ノ問題ナドト云フ大キナ問題デハナイ、此法案ニアルガ如ク、此全體ニ及ボスト云フヤウナコトニナルト相當ニ金額ガ上ボルカモ知レヌノデアルケレドモ、負傷兵ノ類ニシテ今日實際苦シテ居ル者ヲ救フト申シマスナラバ左マデノ金額ニハ上ボラヌノデアル、殆ド財政上ノ問題トスルニハ足ラヌノデアリマスガ、是等ノ者ニ對シテ相當ノ方法ヲ攻究スルト云フコトニ付テモ、大藏大臣ハ尙ホ財政上ノ都合ト云フコトヲ以テ反對サレルノデアリマスカ、如何デアルカ、其點ヲ伺ッテ置キタイト思フ

〔國務大臣武富時敏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(武富時敏君) 唯今大體ニ於テ同意ヲ表スルコトガ出來ナイコトヲ遺憾トスルト云フコトヲ申述ベテ置キマシタ、又詳細ノコトニ涉リマシテハ何レ委員會ニ於テ御協議ヲ盡スコトニ致シタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガゴザイマセヌケレバ第五、第六ハ同一委員ニ付託イタシマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 其氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

壯丁税法案外一件特別委員

子爵山口 弘達君	子爵樋口 誠康君	江木 千之君
男爵村上 敬次郎君	男爵二條 正磨君	加藤 恆忠君
德富猪一郎君	田島竹之助君	西川 甚五郎君

○議長(公爵徳川家達君) 第七、市制中改正法律案、第八、町村制中改正法律案、第九、府縣制中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

市制中改正法律案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十五日

右特別委員副委員長

男爵南岩倉 具威

貴族院議長公爵徳川家達殿

町村制中改正法律案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十五日

右特別委員副委員長

男爵南岩倉 具威

貴族院議長公爵徳川家達殿

府縣制中改正法律案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十五日

右特別委員副委員長

男爵南岩倉 具威

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔男爵南岩倉具威君演壇ニ登ル〕

○男爵南岩倉具威君 唯今議題ニナッテ居リマス三案トモ委員長ニ代リマシテ本員ヨリ御報告申上ゲマス、是等ハ皆矢張り先刻北海道會法中改正法律案ノ場合ニ申上ゲマシタト同ジャウニ、公民權若クハ議員ノ資格ヲ失ヒマスコトニ關スル規定ノ中デ、宣告主義ノ確定主義トノ間ノ相違デ衆議院カラ提出ニナリマシタモノデゴザイマス、先刻申述ベマシタト同ジ理由ヲ以チマシテ、委員會デハ衆議院ノ提出ニ賛成シナイ、同意ガ出來ナイト云フコトデ否決ニナリマシタ、是ダケ御報告イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今南岩倉男爵ノ述ベラレマシタ……報告セラレマシタ三案トモ東ネテ問題ニ供シ、採決イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、三案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 無シ

○議長(公爵徳川家達君) 起立者ナシト認メマス、三案トモ否決セラレマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 第十、齒科醫師法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

齒科醫師法中改正法律案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十五日

右特別委員長

伯爵松平 賴壽

貴族院議長公爵徳川家達殿

齒科醫師法中改正法律案

(小字ハ特別委員ノ修正、一ハ同制除ノ符號、又「第一條」ノ下。ハ條文接續ノ符號ナリ)

齒科醫師法中左ノ通改正ス

第一條。第一號中「齒科醫學學校」ヲ「齒科醫學專門學校」ニ改ム

第十一條ニ左ノ一項ヲ加フ

醫師ニシテ特ニ内務大臣ノ許可ヲ受ケスシテ齒科專門ヲ標榜シ又ハ齒科醫業中金屬充填、鑲嵌、義齒、齒冠繼續及架工、齒列矯正並口蓋補綴ノ技術ニ屬スル行爲ヲ爲シタル者亦前項ニ同シ
齒科醫學ノ課程ヲ設クル醫學專門學校以上ノ學校ニ於テ一年以上齒科醫學ヲ專攻シタル證明ヲ有セサル醫師ニシテ齒科醫業中技工ニ屬スル行爲ヲ爲シタル者又ハ齒科專門ヲ標榜シタル者亦前項ニ同シ

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法公布前一年以上齒科專門ヲ標榜シ引續キ齒科醫業ヲ爲ス醫師ニ對シテハ第十一條第二項ノ規定ヲ適用セス

〔伯爵松平賴壽君演壇ニ登ル〕

○伯爵松平賴壽君 唯今議題ニナツテ居リマス 齒科醫師法中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告イタシマス、此委員會ハ十七日ヨリ始メマシテ、數回ニ渉リマシテ委員會ヲ開キマシタ、十七日ハ正副委員長ノ互選ヲ致シマ

シテ、ソレヨリ引續イテ質問ニ這入リマシテ、各委員方ハ非常ナル熱心ヲ以テ政府ニ御質問ニナリ、政府委員モ亦非常ナル熱心ヲ以テ之ニ付テ説明ヲセラレマシタコトデゴザイマス、此法案ガ……改正案ガ出マシタノハ、普通ノ醫師ト齒科醫師トモノ……醫師法及齒科醫師法ト云フモノガ法律ヲ制定サレテ居リマス爲ニ、齒科醫師ノ方デハ自分ノ範圍内……領分ニ普通ノ醫者ガ這入ルト云フコトニ付テ非常ニ困ルコトデアッテ、ソレヲ制限シテ貫ヒタイト云フノガ、即チ衆議院カラ提出サレ……此改正案ガ出タ所以デアル、ソコデ政府ニ於キマシテモ此改正案ハ同意ヲ表シテ居リマス、デ第一ニ申上ゲマスノハ、此第一條ノ中ニ出テ居リマス齒科醫學學校ヲ齒科醫學專門學校ニスルト云フコトハ……普通專門學校ト云フコトハ……齒科醫學學校ト云フモノハ無クナリマシテ、普通齒科醫學專門學校ト變ッテ來ル、斯ウ云フヤウニナツタト云フコトデアリマス、ソレカラ「第十一條ニ左ノ一項ヲ加フ」ト云フ、此條文デゴザイマスガ、是ニハ非常ナル御議論ガゴザイマシテ、此條文ハ全部取除ケマシテ、修正案ガ之ニ付テ出マシタ、修正案ガ此委員會デハ三案出マシタ、ソレデ委員ノ御方ノ修正案ハ三案ノ中ニ二案ダケ否決セラレマシテ、一ノ後ノ修正案ガ成立イタシマシタ次第デアリマス、其修正案ハ唯今茲デチョット讀上ゲマスガ、此「第十一條ニ左ノ一項ヲ加フ」ト云フ次ノ所ヘ「醫師ニシテ特ニ内務大臣ノ許可ヲ受ケスシテ齒科專門ヲ標榜シ又ハ齒科醫業中金屬充填、鑲嵌、義齒、齒冠繼續及架工、齒列矯正並口蓋補綴ノ技術ニ屬スル行爲ヲ爲シタル者亦前項ニ同シ」ト云フコトニ修正サレタノデアリマス、ソレニ付テノ提出者ノ理由ヲ申述ベマスルト、前ニ衆議院ヨリ提出セラレマシタ法文中ニ「齒科醫學ノ課程ヲ設クル醫學專門學校以上ノ學校ニ於テ一年以上齒科醫學ヲ專攻シタル證明ヲ有セサル」トアリマスノデ、即チ委員會デ可決イタシタ所ニ依リマス「ト」内務大臣ノ許可ヲ受ケスシテ」トシテ、即チ内務大臣ニ一任ヲシテ、内務大臣ノ許可ヲ受ケルヤウニシテ、内務大臣ニ責任ヲ一任シテ仕舞フト云フヤウニシタ方ガ宜カラウト云フコトデアリマス、又其中ニ「齒科醫業中技工ニ屬スル行爲」ト云フコトガアリマスガ、此分ハ即チ此各金屬充填及鑲嵌、義齒其他ト云フ項目ヲ細カニ分ケテヤリマシタト云フノハ、即チ若シモ爭デモ出來マシタトキニ裁判所トシマシテ之ヲ決定シナケレバナラヌコトガアリマス、唯技工ト致シマスルト隨分範圍ガ廣ウゴザイマスノデ、其範圍ヲ決メルニ非常ニ困ル、又參考人ヲ喚ビマシタトキニ、或ハ醫師參考人ヲ呼ンダト

キニ範圍ヲ狹ク考ヘル、又齒科醫ノ方ノ參考人ヲ喚シダトキハ即チ範圍ヲ廣クシテ貰フト云フト、兩方ノ限界ガ立タヌカラ、已ムヲ得ズ茲ニ決メテ出スト云フコトニシタガ宜カラウト云フコトニナリマシタ次第ゴザイマス、ソレデ委員會ハ之ヲ可決イタシタノデゴザイマス、前ニ申落シマシタガ、此委員會ハ長イコトデアリマシテ、修正案ノ出マスルマデノ間ニハ大變議論ガゴザイマシタガ、又修正案モ澤山出マシタニ付キマシテ、各委員ノ御方トシテハ非常ニ御心配ニナリマシテ、何トカ良イ方法ハナイカト云フコトデ、懇談會モ開キマシタガ、餘リ修正案ハ離レテ居ル爲ニ、是ハ十分ニ纏ラズシテ、已ムヲ得ズ決ヲ採ルコトニ相成リマシテ、贊否ヲ採ッタデアリマス、ソレデ委員會デハ……昨日ノ委員會ハ出席者ガ七人デアリマシタ、七人ノ中、五ガ贊成デアリマシテ、二ガ否決デゴザイマシタ次第ゴザイマス、委員會ノ結果ヲ御報告イタシテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○伯爵松平頼壽君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ……

○子爵今城定政君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開クベシト云フ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス……全部委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス、是デ第二讀會ハ終リマシタ

○伯爵松平頼壽君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ……

○子爵今城定政君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第三讀會ヲ開キマス……第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、此際都合ニ依リマシテ休憩イタシマス

午前十一時十七分休憩

午後一時三十九分開會

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

本日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案外一件特別委員會

委員長 伯爵奥平 昌 恭君 副委員長 男爵目賀田種太郎君

理化學ヲ研究スル公益法人ノ國庫補助ニ關スル法律案特別委員會

委員長 伯爵正親町 實 正君 副委員長 松岡 康毅君

大正三年度豫備金支出ノ件外三件(承諾ヲ求ムル件)特別委員會

委員長 男爵武井 守 正君 副委員長 福永吉之助君

本日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

關稅定率法中改正法律案可決報告書

朝鮮ノ生産ニ係ル生果、核子及銅ノ移入稅ニ關スル法律案可決報告書

大正三年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、大正三年度特別會計豫備

金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)、大正三年度大正三年臨時事件豫備費支出

ノ件(承諾ヲ求ムル件)、大正三年度帝國鐵道積立金支出ノ件(承諾ヲ求ム

ル件)可決報告書

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、第十一、實用新案法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

實用新案法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十五日

右特別委員副委員長

藤田 四郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔藤田四郎君演壇ニ登ル〕

○藤田四郎君 實用新法案中改正法律案ノ特別委員會ノ經過ヲ御報告申上ゲマス、本案ハ衆議院ノ提案ニ係リマシテ先日當院ニ回付セラレタモノデゴザイマス、本案ノ内容ハ從來三年ノ登錄、次イデ更ニ三年ノ延長ヲ得マシテ登錄ヲシマス、即チ實用新案者又ハ其權利ノ保有者ガ六箇年間ノ保護ヲ受ケテ居リマスル所ガ、實際ニ於キマシテ六年間デハ其新案ノ保護ノ目的ヲ十分ニ全ウスルコトハ出來ナイニ依ッテ、更ニ四年間之ヲ延長シテ登錄ヲ受ケルコト、即チ從來ノ六年ノモノヲ十年ニ改メルト云フ趣意デゴザイマス、從ッテ其第三回目ノ登錄ノトキニ一年凡ソ十五圓ノ割、即チ六十圓ノ金ヲ納メテ登錄ヲ四年間ニ致スト云フコトニナリマス、デ是ハ一昨年デゴザイマシタカ、衆議院ニ於テ可決ニナリマシテ、本院ニ於キマシテモ委員會ノ可決ヲ得マシタモノデゴザイマスルガ、會期切迫ノ爲ニ議了ニ至リマセナシタモノダト云フ、政府ニ於キマシテハ本案ハ最モ必要モノト存ジテ、本案ノ通過ヲ希望セラレマス、但政府ガ之ヲ自ラ提案セラレナシタノハ、此實用新案法若クハ特許法等ニ付キマシテ種々改正ヲ要スルモノガゴザイマスルガ、時運ノ變遷ニ依リマシテ改正ヲ要スルモノガゴザイマスルガ、對外等ノ關係其他ニ於テマダ調査未了ノ爲ニ、此提出ヲ致スコトガ出來ナイト云フヤウナ次第ニナッテ居ルト云フ、特別委員會ハ右ノ次第デゴザイマスルモノデゴザイマスカラ、全會一致ヲ以テ本案ヲ可決イタシマシタ、此段御報告イタシマス

○藤田四郎君 ドウカ之ヲ讀會ヲ省略イタシマシテ本案ヲ可決セラレムコトヲ望ミマス

○伯爵吉井幸藏君 賛成

○伯爵萬里小路通房君 賛成

○子爵大宮以季君 賛成

○伯爵柳原義光君 賛成

○伯爵奥平昌恭君 賛成

○伯爵清閑寺經房君 賛成

○男爵内田正敏君 賛成

○小野田元熙君 賛成

○子爵清岡長言君 賛成

○高崎親章君 賛成

○男爵肝付兼行君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 藤田四郎君ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、本案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第十二、砂鑛法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

砂鑛法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十五日

右特別委員長

石黒五十二

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔石黒五十二君演壇ニ登ル〕

○石黒五十二君 唯今議題ニ上リマシタル所ノ砂鑛法中改正法律案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、委員會ハ去ヌル二十四日竝ニ二十五日ノ兩日ニ開キマシテ、正副委員長ノ互選、引續キマシテ會議ヲ開キマシテゴザイマス、其際ニハ政府委員ノ出席ヲ求メマシテ委員會中ヨリ十分ニ質問モアリマシタ次第アリマス、本案ノ内容ハ去ヌル明治二十二年三月法律第十三號ノ改正デアリマス、現行法ニ於キマシテハ砂鑛ト稱シマスルモノハ砂金、砂鐵、砂錫、此三ツノミニ止ッテ居ルノデアリマス、然ルニ方今ニ至リマシテハ多々其他ノ砂鑛ガ現ハレテ來ルノデアリマスガ、何等法律ノアリマセヌガ爲ニ、更ニ制裁ヲ加ヘルコトガ出來マセヌノデアリマス、ソレ故ニ今回ノ改正

ノ趣旨ハ「砂鑛ト稱スルハ砂金、砂鐵、砂錫其他冲積鑛床ヲ爲シタル金屬鑛ヲ謂フ」是等ノ中ニハ砂白金其他ノ金屬ヲ含ミマス次第デアリマスノデアリマス、其他ノ金屬ト申シマスレバ「タングステン」ノ如キ、「ウラニウム」ノ如キ、「トリウム」ノ如キ、斯ノ如キ少量ナモノデハアリマスケレドモガ、是等ノ金屬ヲ含マセテ、而シテ此砂鑛法案ノ中ニ網羅サスル案デアリマス、併ナガラ委員中ヨリ質問モアリマシタガ、「ダイヤモンド」トカ、「サファイヤ」トカ、「トッパス」トカ、或ハ又「アルミニウム」ヲ含有イタシマス所ノ粘土ノ如キモノハ此法案中ニハ含マナイノデゴザイマス、政府ニ於キマシテモガ、此法案ニ付キマシテハ同意ヲ表サレテ居リマス、同意ヲ表サレテ居リマスノミナラズ、政府ニ於キマシテモガ此法案ヲ早晚御出シニナラムトスル際デアリマス折柄、衆議院ヨリ提出ニナリマシタガ爲ニ、政府モ非常ニ此點ニハ同意ヲ表サレテ居ル次第デアリマス、斯ノ如キ次第デアリマスガ爲ニ、委員會ハ滿場一致ヲ以チマシテ可決ヲ致シマシテゴザイマス、尙ホ委員ノ一人ヨリ希望ガ出テアリマス、其希望ハ前申上ゲマシタ「トッパス」「ダイヤモンド」「サファイヤ」若クハ又「アルミニウム」ヲ含有シテ居ル所ノ粘土等モ、今申上ゲマシタ金屬類ト同様ナル法規ヲ、一日モ早ク制定サレムコトヲ望ムト云フ御希望ガ出テ居リマスノデ、本案ハ前申上ゲマシタ通り、原案通り滿場一致ヲ以チマシテ可決ヲ致シマシタ、右御報告ヲ申上ゲマス

○伯爵吉井幸藏君 此案モ讀會ヲ省略シテ御決定アラムコトヲ希望イタシマス

○伯爵正親町實正君 賛成

○子爵榎本武憲君 賛成

○伯爵萬里小路通房君 賛成

○伯爵柳原義光君 賛成

○子爵冷泉爲勇君 賛成

○子爵片桐貞央君 賛成

○伯爵松平直之君 賛成

○石黒五十二君 賛成

○伯爵奥平昌恭君 賛成

○子爵西大路吉光君 賛成
○議長(公爵徳川家達君) 吉井伯爵ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ

請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、本案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第十三、罹災救助基金法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

罹災救助基金法中改正法律案
右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十五日

右特別委員長

伯爵島津 忠磨

貴族院議長公爵徳川家達殿
罹災救助基金法中改正法律案

罹災救助基金法中左ノ通改正ス

(小字ハ特別委員ノ修正ナリ)

第十七條第一號及同號但書中「地方債證券」ノ下ニ「勸業債券日本興業銀行債券」ヲ加フ

「伯爵島津忠磨君演壇ニ登ル」

○伯爵島津忠磨君 唯今日程ニ上リマシタ罹災救助基金法中改正法律案ノ委員會ニ於キマスル結果ヲ簡單ニ御報告ヲ致シマス、現行法ノ基金ノ運用ノ範圍ヲ廣ク致シマスル爲ニ農工債券、北海道拓殖銀行債券ヲ加ヘマシタノガ原案ノ趣意デアリマシテ、委員會ニ於キマシテハ質問ノ後委員ヨリ修正ガ出マシタ、ソレハ改正案ノ運用ヲ更ニ完全ニ致シマスル爲ニ、此但書ニ書イテゴザイマスル農工債券、北海道拓殖銀行債券ノ上ニ更ニ勸業債券、日本興業銀行債券ヲ加ヘマシタダケノコトデアリマシテ、其修正ニハ政府ニ於キマシテモ賛成ヲサレマシタノデ、委員會ニ於キマシテモ多數ヲ以テ此修正案ヲ可決イタシマシタ次第デゴザイマス、此段御報告ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請

ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○伯爵島津忠鷹君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵榎本武憲君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開キマス……委員長ノ報告通リ
デ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○谷森眞男君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵八條隆正君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ第三讀會ヲ開キマス……第二讀會ノ決議通
リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、是ニテ本日ノ議事ハ終リ
マシタ、明日ノ議事日程ハ決定次第御通知ニ及ビマス、本日ハ是デ散會ヲ致
シマス

午後一時五十分散會